

委託事業実施内容報告書

平成26年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【地域日本語教育実践プログラム(B)】

受託団体名 駒ヶ根市

1. 事業名称 「駒ヶ根市日本語学習システム」に基づく日本語教育事業

2. 事業の目的

日本人・外国人・行政との協働で「駒ヶ根市日本語学習システム」を運用し、日本語を母語としない市民に対する効果的な日本語学習を実施するとともに、日本人と外国人との円滑な市民生活を創出するための日本語学習が継続的に運用できるよう関係者と連携し、社会教育活動としての本システムの在り方を検討する。

3. 事業内容の概要

現在、当市に在住している外国人は、日本語に問題を抱えてはいるものの、あらためて学習しようという強いモチベーションを持つ者は必ずしも多くない。一方で、きっかけさえあれば地域社会に関わりたいという意欲は有している。そこで本事業では、文法中心ではない生活に密着した日本語を、地域の日常や文化を体験する中で習得することを目指す。

教室は地域の社会教育の拠点となっている公民館を中心に実施する。これにより、日本語教育が社会教育活動の一環として位置づけるとともに、他の社会教育団体との連携強化を目指す。その過程で、受講する外国人の関心が他の活動にも向き、結果として外国人が地域に入るきっかけの増加が期待できる。

以上の取り組みを通じて語学習得はもちろん、日本人と外国人との顔の見える関係が構築され、両者の間にある「言葉の壁」のみならず、「心の壁」が解消に向かい、より円滑な市民生活が実現される。

4. 運営委員会の開催について

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成26年9月8日(月) 13:30~15:30	2時間	駒ヶ根市役所	高坂保、春原直美、宮越幸代、茂木優子、藤井佳代、高森アナ、高木美喜代、杉浦早織、肥野みさを	1事業概要説明 2内容検討 3その他	26年度の活動内容の報告。特に昨年度までいたコーディネーター不在の中、ボランティア同士が確認しあいながら事業を展開していく。
2	平成26年12月15日(月) 10:00~12:00	2時間	駒ヶ根市役所	高坂保、春原直美、宮越幸代、茂木優子、松澤哉子、高森アナ、杉浦早織、肥野みさを	1今年度の状況について 2来年度の運営について 3その他	現在当市に2団体存在している日本語教室は、連携していくことで充実が図られる。27年度へ向けて連携の方法を模索していく。
3	平成27年3月9日(月) 13:30~15:30	2時間	駒ヶ根市役所	高坂保、春原直美、宮越幸代、茂木優子、藤井佳代、高森アナ、杉浦早織、肥野みさを	1今年度の活動状況 2H27活動方針及び運営について 3その他	26年度事業報告。受講者を増やしていくことと、ボランティアのスキル向上及び裾野を広げていく活動をしていくこと。開催の主体が公民館及び地球人ネットワークに移るが相互の連携を図っていくこと。

5. 取組についての報告

○取組1: 日本語教室の実施

(1) 体制整備に向けた取組の目標

- ・当市の実情に即した日本語教室を実施する(受講者アンケートで実情に即しているかどうかを把握する)。
- ・「生活者としての外国人」に対し地域活動参加を促す場を整備する。

(2) 取組内容

- ・年度当初に、教室の内容を決めるため受講者を集めてのワークショップを実施した。その際に出た意見をベースに外国人が参加しやすく、かつ地域活動への参加のきっかけになるようなプログラムを企画した。
- ・1回の教室を120分~150分に設定し、市民ボランティアが日本の歴史や文化を学ぶことをテーマに、手作りの教案に基づいて実施した。
- ・必要に応じて公民館の講座等から補助者(ゲスト)を招いて交流を図りながら実施した。
- ・公民館で実施されている他の講座との連携を図り、互いにプラスになるような講座を実施した。
- ・地域の催しに参加したり、学習者の成果を発表する機会を設けたりするなど、開かれた教室運営となった。

(3) 対象者

- ・駒ヶ根市または駒ヶ根市近郊に在住、もしくは駒ヶ根市に通勤・通学する外国人等□市民ボランティア

(4) 参加者の総数 17人

出身・国籍別内訳

中国	2人	インドネシア	3人	ロシア 1人、台湾 1人
韓国	人	タイ	1人	
ブラジル	1人	ペルー	2人	
ベトナム	1人	フィリピン	5人	
ネパール	人	日本	人	

(5) 開催時間数(回数) 66時間 (全 32回)

(6) 取組の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成26年5月17日 13:00～15:00	2時間	赤穂公民館	3人	タイ(1人)、ペルー(1人)、フィリピン(1人)	ワークショップ	今年度やりたいことを日本語で伝える。自己紹介	文化太郎(講師)	
2	平成26年6月7日 13:00～15:00	2時間	駒ヶ根文化センター	3人	タイ(1人)、ペルー(1人)、ロシア(1人)	日本料理に挑戦	日本の代表的料理である肉じゃがを作って日本料理を学ぶ	小林朝子(講師)	津野郁子(栄養士)
3	平成26年6月14日 13:00～15:00	2時間	赤穂公民館	3人	タイ(1人)、ペルー(1人)、ロシア(1人)	日本料理振返り	肉じゃが作りの時の映像を基に料理に使う日本語を学ぶ	野口裕一(講師)	
4	平成26年6月21日 13:00～15:00	2時間	赤穂公民館	3人	タイ(1人)、ペルー(1人)、ロシア(1人)	お国料理のレシピ作成	肉じゃが作りの講師を習って、自国の料理をレシピにして日本語を学ぶ	小栗潔(講師)	
5	平成26年6月28日 13:00～15:00	2時間	赤穂公民館	1人	ロシア(1人)	レシピの発表	自分で作ったレシピを発表し、日本語を学ぶ	井上栄(講師)	
6	平成26年7月12日 13:00～15:00	2時間	赤穂公民館	4人	タイ(1人)、ペルー(1人)、フィリピン(1人)、ロシア(1人)	ペルー料理教室	自分で作成したレシピを基に講師になることで、日本語を学ぶ	小林朝子(講師)	
7	平成26年7月19日 13:00～15:00	2時間	赤穂公民館	1人	ロシア(1人)	ペルー料理教室振返り	講師を務めた料理教室を振返り、うまく伝わらなかった日本語を学ぶ	小林朝子(講師)	
8	平成26年7月26日 13:00～15:00	2時間	赤穂公民館	1人	ペルー(1人)	体力測定	体力測定を通じて、用具や運動の名称を習う	杉浦佐織(講師)	
9	平成26年8月2日 13:00～15:00	2時間	赤穂公民館	2人	ペルー(1人)、タイ(1人)	タイ料理教室準備	タイ料理教室のための準備を行いながら日本語を学ぶ	野口裕一(講師)	
10	平成26年8月9日 13:00～15:00	2時間	赤穂公民館	3人	ペルー(1人)、フィリピン(2人)	自国の夏の行事の紹介	自国の夏の行事を紹介するための日本語を学ぶ	井上栄(講師)	
11	平成26年8月23日 10:00～13:00	3時間	赤穂公民館	2人	ペルー(1人)、タイ(1人)	タイ料理教室	赤穂公民館と共同開催親子の料理講座として、地域住民との交流を合わせて開催	小栗潔(講師)	
12	平成26年8月30日 13:00～15:00	2時間	赤穂公民館	1人	フィリピン(1人)	自己紹介の学習	来日1週間の受講者を対象に自己紹介の方法を学ぶ	杉浦早織(講師)	
13	平成26年9月13日 13:00～15:00	2時間	赤穂公民館	2人	ブラジル(1人)、中国(1人)	タイ料理教室の振返り	講師を務めた料理教室を振返り、うまく伝わらなかった日本語を学ぶ	林佐紀(講師)	
14	平成26年9月20日 13:00～15:00	2時間	駒ヶ根高原	6人	ペルー(1人)、ブラジル(1人)、フィリピン(3人)、ロシア(1人)	外国人が訪れやすい観光地提言	市内の観光地である駒ヶ根高原を訪れ、外国人が観光するために必要なこととはという視点で分析	事務局(講師)	
15	平成26年9月27日 13:00～15:00	2時間	赤穂公民館	3人	タイ(1人)、ブラジル(1人)、ロシア(1人)	外国人が訪れやすい観光地提言まとめ	外国人が訪れるための観光地として、外国人目線で観光部局へ提言するためのまとめ	小林朝子(講師)	

16	平成26年10月4日 13:00～15:00	2時間	赤穂公民館	3人	タイ(1人)、ブラジル(1人)、ペルー(1人)	こまタクロールプレイ	市内を走る数少ない公共交通機関であるデマンドタクシーに乗車するための方法をオペレーターを招いて学ぶ	野口裕一(講師)	小椋友子(こまタクオペレーター)
17	平成26年10月11日 13:00～15:00	2時間	赤穂公民館	2人	ロシア(1人)、ブラジル(1人)	防災イラストカードを活用した防災	防災イラストカードを活用して防災用語を学ぶ	野口裕一(講師)	
18	平成26年10月18日 13:00～15:00	2時間	赤穂公民館	2人	ペルー(1人)、ブラジル(1人)	戸倉山ハイキング準備	地域住民と登る戸倉山ハイキングのために必要な用語を学ぶ	伊藤勝(講師)	
19	平成26年10月25日 10:00～13:00	3時間	ふれあいセンター	3人	ロシア(1人)、ブラジル(1人)、ベトナム(1人)	災害図上訓練(DIG)	長野看護大学生及び地域住民と共に図面上で行う避難訓練	今井看護大学教授(講師)	
20	平成26年11月2日 0:00	中止				戸倉山ハイキング			
21	平成26年11月15日 13:00～15:00	2時間	赤穂公民館	4人	ロシア(1人)、ペルー(1人)、中国(1人)、フィリピン(1人)、	カラオケ大会	日本の歌を通して日本語を学ぶ	野口裕一(講師)	
22	平成26年11月22日 13:00～15:00	2時間	赤穂公民館	2人	ペルー(1人)、ブラジル(1人)	そばうち準備	日本の伝統料理であるそばうち体験のために必要な用語及びルーツを学ぶ	福澤友美(講師)	
23	平成26年11月29日 13:00～15:00	2時間	赤穂公民館	1人	ペルー(1人)	そばうち教室	日本の伝統料理であるそばうち体験を通じて日本語を学ぶと共に赤穂公民館の講座である麺友会の皆さんと交流を図る	事務局(講師)	小原敏夫(麺友会)
24	平成26年12月6日 13:00～15:00	2時間	赤穂公民館	4人	ペルー(1人)、ロシア(1人)、ブラジル(1人)、中国(1人)	ロシア料理教室準備	ロシア料理教室のための準備を行いながら日本語を学ぶ	杉浦早織(講師)	
25	平成26年12月13日 10:00～13:00	3時間	赤穂公民館	3人	ペルー(1人)、ロシア(1人)、タイ(1人)	ロシア料理教室	赤穂公民館と共同開催 ロシア料理講座として、地域住民との交流を合わせて開催	杉浦早織(講師)	
26	平成26年12月20日 13:00～15:00	2時間	赤穂公民館	2人	ペルー(1人)、インドネシア(1人)	新年会準備	地球人ネットワークinこまがねと共同開催するための準備 運営委員及び家族を招待して、スピーチを行うことが決定	井上栄(講師)	
27	平成27年1月17日 13:00～15:00	2時間	赤穂公民館	2人	ペルー(1人)、ブラジル(1人)	新年会準備	新年会で行うスピーチの準備	小林朝子(講師)	
28	平成27年1月24日 13:00～15:00	2時間	赤穂公民館	4人	タイ(1人)、ペルー(1人)、ブラジル(1人)、ロシア(1人)	新年会準備	新年会で行うスピーチの準備	小林朝子(講師)	
29	平成27年1月31日 10:00～13:00	3時間	赤穂公民館	5人	タイ(1人)、ペルー(1人)、ブラジル(1人)、ロシア(1人)、フィリピン(1人)	新年会(地球人ネットワークinこまがねと合同)	・司会、開閉会の言葉 ・スピーチ ・歌(幸せなら手をたたこう) ・各国の料理で会食	事務局(講師)	
30	平成27年2月14日 13:00～15:00	2時間	赤穂公民館	3人	タイ(1人)、ブラジル(1人)、ロシア(1人)	花巻寿司準備	日本の伝統料理である寿司のうち地元の特産品である花巻寿司を体験するために必要な用語及びルーツを学ぶ	福澤友美(講師)	

31	平成27年2月 21日 13:00～15:00	2時間	赤穂公民館	9人	インドネシア(3人)、 タイ(1人)、ブラジル (1人)、ロシア(1 人)、ペルー(2人)、 フィリピン(1人)	花巻寿司教室	日本の伝統料理である寿司のう ち、地元の特産品である花巻寿 司の体験を通じて日本語を学ぶ	福澤友美(講 師)	小平つた子、福澤千恵子 (花巻寿司講師)
32	平成27年3月 14日 13:00～15:00	2時間	赤穂公民館	4人	ブラジル(1人)、ロシ ア(1人)、ペルー(1 人)、台湾(1人)	閉講式	・修了証の授与 ・映像にて26年度事業の振り返り	事務局(講 師)	

(7) 参加者の募集方法

教室の募集チラシを過去の参加者に配布。その他、地元プレス及びホームページにて広報。

(8) 特徴的な活動風景(2～3回分)

所見

8/23第11回教室(タイ料理教室)。本年度公民館で開催している趣旨である、地域住民との交流を図りながらの活動。赤穂公民館の講座として親子の料理教室の講師を務めた。講師を務めることで十分な準備が必要になる。レシピを作成することで読み書きの

- ① 学習、説明することでスピーチの学習になった。同時に地域住民との交流が図られ大きな効果が得られた。



所見

10/4第16回教室(こまタクロールプレイ)。以前の公共交通機関である市街地巡回バスからデマンド型乗り合いタクシーに移行したことにより、制度が全く分からないとの声から企画。実際に案内をしているオペレーターをゲストに招いて登録及び予約の方法を

- ② 体験。予約の際の専門用語を習得したことと、電話の応対についても学ぶことができた。



(9) 取組の目標の達成状況・成果

○アンケート結果より

当初に参加者がやりたいことをワークショップを通じて決めたことで、活動の内容は良かったとの結果。日本の文化を学ぶ機会を求めている受講者が多数をしめている一方で、日本語自体を学びたいという受講者もいた。

○参加者について

受講者は17名と一定の成果は得られたものの、一回あたりの参加者が平均3名と少人数だった。

○ボランティアについて

ボランティアの参加は平均5名と常に外国人を上回っており十分なサポートができた。しかし、登録者が13名と増えなかったことは課題。

(10) 改善点について

- ・活動内容については、今後も参加者の意見を聞きながら決めていくことが必要
- ・今年度行った日本の文化を学びながら、生活者のための教室を展開していくと共に、日本語の読み書きを学べる内容も盛り込みたい。
- ・チラシや地域のプレス、市の広報誌、ホームページ、フェイスブック等の媒体を通じて、日本語教室の活動をPRしていくことで、参加者を増やしていきたい。

○取組2:「駒ヶ根市日本語学習システム」に参加する日本語教育人材の育成

(1) 体制整備に向けた取組の目標

- ・日本語教育事業に参加する市民ボランティアのスキルアップを図る。
- ・新たな市民ボランティアの掘り起こしを図る。

(2) 取組内容

- ・地方都市である当市の日本語教室で指導するのは市民ボランティアである。そのボランティアのレベルアップを図るための研修を年間3回(各3時間)実施する。
- ・研修内容は日本語教授法に限らず、多文化共生や地域の実情に関する専門知識、外国人に寄り添うための態度を学ぶものなど、その時々で必要となる内容を提供する
- ・研修参加者は広く募る。それにより、本事業に関心を寄せる市民の掘り起こしを図る。

(3) 対象者 市民ボランティア

(4) 参加者の総数 22人

出身・国籍別内訳

中国	人	インドネシア	人
韓国	人	タイ	1人
ブラジル	人	ペルー	1人
ベトナム	人	フィリピン	人
ネパール	人	日本	20人

(5) 開催時間数(回数) 9時間 (全3回)

(6) 取組の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成26年8月9日 13:00~16:00	3時間	赤穂公民館	10人	ペルー(1人)、日本(9人)	外国人のための日本語支援 ～持続可能な社会を目指そう～	・日本語ボランティアをやってみようと思った理由 ・ニーズを把握する ・持続可能な社会のために ・地域に日本語教室のあるべき姿	堀久乃(講師)	
2	平成26年9月27日 13:00~16:00	3時間	赤穂公民館	13人	ペルー(1人)、日本(12人)	災害時の日本語 ～防災イラストカードの活用～	防災イラストカードを活用して災害時における必要な日本語表現を指導するための講座	堀久乃(講師)	
3	平成27年2月28日 13:00~16:00	3時間	赤穂公民館	11人	ペルー(1人)、タイ(1人)、日本(9人)	・松本市の取組みについて ・日本語の教え方について	・松本市多文化共生プラザの活動の紹介 ・外国語として見た日本語の視点から日本語教示法の初歩	佐藤佳子(講師)	

(7) 参加者の募集方法

地元のプレスに広報の依頼。市の日本語教室のボランティア及び地球人ネットワークinこまがねのボランティアに対してチラシを配布

(8) 特徴的な活動風景(2～3回分)

所見

9/27第2回ボランティア講習会(災害時の日本語)

- ① 静岡県で活用されている防災イラストカードを使って、外国人が災害時に必要な日本語表現を習得するために指導法を学ぶ講座。ともすれば災害時には日本人も混乱を招くことになることから外国人はもちろんのこと日本人にも活用ができるカードである。災害現場では第一線で活動が見込まれる長野県看護大学生も参加し、実演を交えて講習を行った。



1/31第3回ボランティア講習会(松本市の取組み、日本語の教え方について)

- ② 先進地である松本多文化共生プラザの活動の紹介及び日本語教室の教え方を学んだ。ボランティアのアンケートからも他団体の活動の様子は大変参考になる。また、日本語教師の資格を有する方から指導法を学ぶことは大変有意義であった。



(9) 取組の目標の達成状況・成果

受講者のアンケートの結果、講師の教え方は興味を引くもので、内容としても現場で活用できとても良かったとのこと。ボランティアのスキルアップにとても寄与した。一方、現在ボランティアを担っているメンバー以外の市民参加が少なかったことから、ボランティアの掘り起こしには繋がらなかった。

(10) 改善点について

日本語教授法について感心が高かったので、今後増やしていきたい。ボランティアの掘り起こしの面では今後興味をひくような内容を計画する必要がある

○取組3:日本語学習成果発表会

(1) 体制整備に向けた取組の目標

- ・本事業の学習者が、日本語で出身国の文化等を紹介する。
- ・発表会には広く市民の参加を募る。それにより、会を本事業の成果発表のみならず、日本人と外国人との相互理解の場とする。

(2) 取組内容

- ・本事業の学習者が、日本語で出身国の文化等を紹介する。
- ・発表会には広く市民の参加を募る。それにより、会を本事業の成果発表のみならず、日本人と外国人との相互理解の場とする。

(3) 対象者 日本語教室受講者、駒ヶ根市民

(4) 参加者の総数 40人

出身・国籍別内訳

中国	人	インドネシア	2人	ロシア1人、イギリス1人、ニジェール1人
韓国	人	タイ	1人	
ブラジル	1人	ペルー	1人	
ベトナム	人	フィリピン	2人	
ネパール	人	日本	30人	

(5) 開催時間数(回数) 3時間 (全 1回)

(6) 取組の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成27年1月31日 10:00～13:00	3時間	赤穂公民館	40人	インドネシア(2人)、ブラジル(1人)、タイ(1人)、ペルー(1人)、フィリピン(2人)、ロシア(1人)、イギリス(1人)、ニジェール(1人)、日本(30人)	新年会(地球人ネットワークinこまがねと合同)	・司会、開閉会の言葉 ・スピーチ ・歌(幸せなら手をたたこう) ・各国の料理で会食	事務局(講師)	

(7) 参加者の募集方法

市日本語教室、地球人ネットワークinこまがね受講者及び家族へ呼びかけ。また、両ボランティア及び運営委員にも参加を依頼

(8) 特徴的な活動風景(2～3回分)

来年度共同で日本語教室を開催する予定の「地球人ネットワークinこまがね」と合同で新年会を開催。スピーチ大会を行うことで日本語の学習ができた。運営委員や家族が参加したことで交流ができ、万国共通である「幸せなら手をたたこう」を合唱することで会場が一体になった。



(9) 取組の目標の達成状況・成果

会場満員に参加者が来場。受講者は事前に伝えたいことを日本語で準備したことで、読み書きもと同時に発表することも学んだ。家族も招待したことで、日頃の活動の成果も報告ができた。また、各国の1品料理による会食、プレゼント交換により様々な方達と交流が図れた。

(10) 改善点について

当初の目的でもあった、地域住民に対して発表の機会が設けることができれば、交流が図られると共に活動のPRができる。

○取組4:日本語教育事業に関するテレビ番組の制作

- (1) 体制整備に向けた取組の目標
- (2) 取組内容 ・市内のケーブルテレビ局「エコシティ・駒ヶ岳」(放送エリアは駒ヶ根市、飯島町、中川村、宮田村の4市町村)の協力を得て、日本語教育事業に関する番組を制作し、放送する。・4月開始予定の日本語教育事業について、できるだけ多くの取り組みを取材いただき、年度終盤に編集した番組を放送する。・番組は単なる事業の紹介に留まらず、市内在住の外国人の抱える課題に迫り、それを解決する手段の一つとして日本語教育の場が有効であることを印象付けるものとする。

- (3) 対象者 ・駒ヶ根市、飯島町、中川村、宮田村の契約世帯(視聴者は不明)

- (4) 参加者の総数 約50,000人

出身・国籍別内訳

中国	人	インドネシア	人
韓国	人	タイ	人
ブラジル	人	ペルー	人
ベトナム	人	フィリピン	人
ネパール	人	日本	50,000人

- (5) 開催時間数(回数) 19時間 (全58回)

- (6) 取組の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
全58	平成27年3月5日～3月15日	58時間	ホームテレビ	50,000	日本	活動PR	26年度駒ヶ根市日本語教育事業の活動の紹介	(株)エコシティ・駒ヶ岳	駒ヶ根市秘書広報室

- (7) 参加者の募集方法

番組案内表

- (8) 特徴的な活動風景(2～3回分)

成果物のDVD提出

- (9) 取組の目標の達成状況・成果

放送エリアである駒ヶ根市、飯島町、中川村、宮田村の1市1町2村に対して駒ヶ根市日本語教育事業のPRができた

- (10) 改善点について

番組自体は活動の様子が分かるように制作できた。番組案内の部分で一人でも多くの方に視聴いただけるよう日本語教室側からも広報ができればなお良かった。

6. 事業に対する評価について

- (1) 事業の目的

日本人・外国人・行政との協働で「駒ヶ根市日本語学習システム」を運用し、日本語を母語としない市民に対する効果的な日本語学習を実施するとともに、日本人と外国人との円滑な市民生活を創出するための日本語学習が継続的に運用できるよう関係者と連携することで、社会教育活動としての本システムの在り方を検討する。

- (2) 事業目的の達成状況

- ・赤穂公民館を活用したことで、公民館の講座を行っている市民を講師として、また受講者として招くことができ、広く交流ができた。
- ・市民団体である地球人ネットワークインこまがねと合同で新年会を開催することができ、27年度の日本語運営の共同事業に向けて交流が図られた。
- ・多くの市民に日本語教育事業に関わっていただくことができ、また周知広報を行ったことで、日本語教育に対する市民の理解が深められた。それとともに生活をしていく上での語学の向上が見られた。

- (3) 地域における事業の効果、成果

- ・同じ地区に居住していながら、外国人のことを知らない住民が多かったが、外国人と料理教室等のイベントを通じて交流が図られたことで、外国人のことを認知してもらうことができたことはもちろん、生活していく上では日本人と変わらないことも分かった。
- ・公民館を中心に日本語教育事業を実施したことで、様々な団体との連携が強化され、外国人住民と駒ヶ根市の多様な団体・機関をつなぐ機会となったという点で、日本語教育の体制づくりとして一定の成果があった
- ・日本人が外国の文化を習うことで地域住民の国際化にも寄与できた。

- (4) 改善点、今後の課題について

i 現状

- ・ワークショップを行い、外国人が参加しやすい内容をテーマに設定し、日本の文化を学びながら、かつ地域住民との交流を図ることを目的になるよう開催した。

ii 今後の課題

- ・対象の外国人には永住期間が長かったり、短期の研修生であったりと、日本語力には差が生じている。また、ニーズも多岐に渡っていることから、毎回一斉に教室を行うことは難しい。

iii 今後の活動予定

- ・今後は外国人の個々に合わせた対応が課題であることから、地球人ネットワークインこまがねと連携を図ることで、きめ細やかな日本語教育を行いながら、地域住民とも交流を図っていきたい。
- ・アンケートによると、教室に参加したきっかけは友人の紹介がほとんどをしめている。より広く活動を知ってもらえるよう、外国人はもちろん日本人にも事業周知してもらえるよう広報していきたい。